

IoT・ビッグデータ時代の第1次産業の知識産業化を目指して

— センサとネットワーク、情報活用の現状と課題 —

日時：平成26年10月2日（木）13:00-17:30

場所：東京工業大学 蔵前会館 1F ロイヤルブルーホール

<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/index.html>

主催：東京工業大学異種機能集積研究センター（英文通称:ICE Cube Center）

<http://www.ice.titech.ac.jp/>

東京工業大学精密工学研究所 <http://www.pi.titech.ac.jp/>

東京工業大学フロンティア研究機構 <http://www.fcrc.titech.ac.jp/>

協賛：[社] 応用物理学会 集積化 MEMS 技術研究会

概要

近年、高度情報化社会はさらに進展し、情報ネットワーククラウドの末端にはセンサネットワークが配備され、あらゆる物・環境・生き物にまでセンサが入り込む時代となっています。そこから多種多様な大量のセンサ情報が引き出され、社会・生活に変革をもたらされると期待され、所謂ビッグデータ活用の時代と言われています。最近では、AI 農業、スマート農業等のキーワードで代表される、農業を中心とした第1次産業の情報化、知識産業化への取り組みも加速しています。今後はさらに情報及び情報技術が積極的に利活用され、農業のみならず林業・水産業までも活性化することが期待されています。本研究会はこのような第1次産業の情報化、知識産業化の大きな流れの中で、実際の現場での「センサとネットワーク、情報活用の現状と課題」情報化の現状を探ります。

参加費・参加方法

○参加費： 無料

○参加方法： 聴講事前登録が必要。下記の情報を明記の上、メールにてご送付願います。

●返信用紙

・ 回答先メールアドレス：entry01@ice.titech.ac.jp

— (返信用紙 ここから) —

① ご氏名（ふりがな）：

② 企業名・大学名：

③ ご所属と役職名：

④ ご連絡先(e-mail アドレス)：

— (返信用紙 ここまで) —

【お問い合わせ先】

ICE Cube Center 菅沼隆史 suganuma@ssr.titech.ac.jp

IoT・ビッグデータ時代の第1次産業の知識産業化を目指して ーセンサとネットワーク、情報活用の現状と課題ー

プログラム

総合司会 伊藤浩之 (東京工業大学精密工学研究所准教授)

- 13:00-13:50 開会にかえて
13:00-13:10 「ご挨拶」
益 一哉 (東京工業大学 ICE Cube Center センター長/教授)
- 13:10-13:50 「センサネットワークと相互運用性が支える農林水産業の知識産業化」(招待講演)
本多 潔 (中部大学 教授 / アジア工科大学院 客員教授)
- 13:50-15:10 **センサ技術を活用したソリューション事例**
13:50-14:30 「農林水産分野におけるセンシング技術及びデータの活用」
平藤雅之 (農研機構 領域長/筑波大学 教授)
- 14:30-15:10 「海老養殖 閉鎖循環式陸上養殖システム」ー今後の陸上養殖の課題はー
野原節雄 ((株)アイ・エム・ティー 専務取締役技術統括)
- 15:10-15:20 == (休憩) ==
- 15:20-16:00 「農業情報創成・流通促進戦略~AI 農業等を中核とした Made by Japan 農業の推進~」
神成淳司 (慶應義塾大学 環境情報学部 准教授/医学部 兼任准教授、内閣官房 政府 CIO 補佐官(統括))
- 16:00-17:20 **センサ情報と上位ネットワークを結ぶ架け橋となる技術講演**
- 16:00-16:40 「企業の農業経営を支える食農クラウド Akisai」
深谷朋昭 (富士通イノベーションビジネス本部 Akisai ビジネス部シニアマネージャー)
- 16:40-17:20 「IoT 時代の自律分散協調制御の仕組みとしてのリアルワールド OS」
ーPoE データの収集・利活用の仕組みー
出口 弘 (東京工業大学 総合理工学研究科 教授)
- 17:20-17:30 **閉会： 今後の期待と展開**
司会： 益 一哉